

## アシスト「ユニットインドア」の開発

### 【相手先企業】

株式会社 関東技研

### 【目的】

企業は、スライド式アシストドア「助っ扉（すけっと）くん」を開発し、製品化している。アシスト「ユニットインドア」開発は、この技術を展開した使いやすい中折れ式ドアの製品化である。工業技術センターは、「助っ扉くん」開発の技術支援に引き続き、「ユニットインドア」の製品開発を支援した。

### 【内容】

アシスト「ユニットインドア」は、人の開ける力（押す、引く等）を外付けのセンサを用いずに検出し、開閉を行う自動ドアである。このためドアノブ等を操作せずに、体の一部で押すだけでドアを開けることが可能となっている。

### 【成果】

人は、初めての建物内において、部屋への出入り方法に戸惑うことがある。しかし、アシスト「ユニットインドア」は、入り口を通過する人の動作に、開閉動作が一致していることから、直感的で使いやすく、特に高齢者にとって有効なドアとなる。

現在、製品化をする予定です。



ユニットインドアの外観



ドア開き動作の様子

基礎となった事業：オンリーワン技術支援事業

福祉機器研究会（平成10年度～平成12年度）、技術支援

担当部署：システム応用部 平野 聡